**げるときにすること（２）**

**をくにも。くのとしてなへ**

きなのあと、をくときにはがです。

で、のガラスやがれているかもしれません。

げているときに、またがきるかもしれません。

からがちてきたり、がれたりするかもしれないのでをつけてください。

のやのくなどはかないほうがいいです。

からがちてくるかもしれないので、カバンなどでをってください。

できるだけでげないで、くにいるたちとしながら、やなどなにげてください。

**地震（じしん）　逃（に）げるときに注意（ちゅうい）すること（２）**

**外（そと）を歩（ある）く時（とき）にも注意（ちゅうい）。近（ちか）くの人（ひと）と協力（きょうりょく）して安全（あんぜん）な場所（ばしょ）へ**

大（おお）きな地震（じしん）のあと、外（そと）を歩（ある）くときには注意（ちゅうい）が必要（ひつよう）です。

地震（じしん）で、建物（たてもの）の窓（まど）ガラスや壁（かべ）が割（わ）れているかもしれません。

逃（に）げているときに、また地震（じしん）が起（お）きるかもしれません。

上（うえ）から物（もの）が落（お）ちてきたり、壁（かべ）が壊（こわ）れたりするかもしれないので気（き）をつけてください。

建物（たてもの）の壁（かべ）や自動販売機（じどうはんばいき）の近（ちか）くなどは歩（ある）かないほうがいいです。

上（うえ）から物（もの）が落（お）ちてくるかもしれないので、カバンなどで頭（あたま）を守（まも）ってください。

できるだけ一人（ひとり）で逃（に）げないで、近（ちか）くにいる人（ひと）たちと協力（きょうりょく）しながら、避難所（ひなんじょ）や公園（こうえん）など安全（あんぜん）な場所（ばしょ）に逃（に）げてください。